

| 学科    | 科目     | 単元分野               | 学習目安時間(分)※ |
|-------|--------|--------------------|------------|
| 英米文学科 | 英文法・語法 | 受動態                | 95         |
|       | 英文法・語法 | 不定詞                | 186        |
|       | 英文法・語法 | 動名詞                | 101        |
|       | 英文法・語法 | 分詞                 | 168        |
|       | 英文法・語法 | 関係詞                | 315        |
|       | 英文法・語法 | 疑問詞・疑問文            | 60         |
|       | 英文読解   | 英文解釈(基礎)           | 338        |
|       | 英文読解   | パラグラフ(基礎)          | 132        |
| 中国語学科 | 英文読解   | 英文解釈(基礎)           | 338        |
| 法律学科  | 英文読解   | 英文解釈(基礎)           | 338        |
|       | 英文読解   | 論理構造を示すマーカー        | 224        |
|       | 英文読解   | パラグラフ(基礎)          | 132        |
|       | 英文読解   | 長文問題の解法            | 264        |
| 健康科学科 | 生物基礎   | 代謝                 | 75         |
|       | 生物基礎   | 遺伝子(遺伝情報とDNA)      | 57         |
|       | 生物基礎   | 生物の体内環境(恒常性・体液)    | 66         |
|       | 生物基礎   | 生物の体内環境(神経とホルモン)   | 178        |
|       | 生物基礎   | 生物の体内環境(免疫)        | 239        |
|       | 生物基礎   | 生態系とその保全           | 114        |
|       | 化学基礎   | 物質量と化学反応式の基礎       | 287        |
|       | 化学基礎   | 物質量と化学反応式(質量・体積計算) | 261        |
|       | 化学基礎   | 物質量と化学反応式(濃度計算)    | 53         |
| 看護学科  | 生物基礎   | 生物の体内環境(恒常性・体液)    | 66         |
|       | 生物基礎   | 生物の体内環境(神経とホルモン)   | 178        |
|       | 生物基礎   | 生物の体内環境(免疫)        | 239        |

※個別最適学習で回答時間が個々で異なるため、学習時間は目安として考えて下さい

## 単元設定の理由

|       |  |
|-------|--|
|       | グローバル社会では、異文化を深く理解し、さまざまな文化圏の人々とコミュニケーションを図ることが求められます。英米文学科では英語の資料を読み解き、自ら考え、英語で意見を発信できるような実践的な英語運用能力を磨きますが、そのための基盤として、この単元の修得を求めています。   |
| 英米文学科 | 本学科では、英米文学や文化、そして英語のしくみを学ぶことで、異なる文化圏の社会、歴史、人々の考え方を多角的に理解するだけでなく、私たち自身を見つめ直す思考力、そして未来を考える創造力や表現力を身につけてほしいと考えています。ぜひ、英語という言葉の奥にあるモノを読み解く面白さを共有しながら、21世紀を生き抜く力を一緒に磨きませんか。   |
| 中国語学科 | 中国語学科では、中国語修得と異文化理解に強い関心をもっている学生を積極的に受け入れる方針です。中国語と英語は異なる言語タイプに属することから、英語の基礎知識を中国語にあてはめることにより多角的な視座の獲得が期待できます。また英語学習で培ったスキルを中国語習得に活かすことにより、複数の言語を習得するための応用力を身につけることにもつながります。   |
| 法律学科  | 法律学は、じつは外国語の学習に少し似ています。見慣れない言葉や表現に出会ったとき、辞書を引きながら文章を読むという経験は、英語でも法律でも共通するものです。法律では「善意」などの用語が日常とは異なる意味で使われていますし、法律の教科書は一文が長くなっています。法律学科では、六法（主要な法律を集めた辞書のような法令集）で条文を参照しながら、条文の意味を読み解いていきます。たしかに法律は日本語で書かれていますが、文を丁寧に読み解き、意味を確かめながら自分の考えを形にしていく作業は、外国語を学ぶプロセスとよく似ているのです。英語を学ぶことは、ただ語学力を高めるだけではなく、このように法律の文章に向き合うための「読みの力」を鍛えることにつながるのです。また、英語を学ぶことは、異なる考え方に対する経験にもつながります。法律学では、選択的夫婦別姓制度の導入の是非や安楽死の是非といったように、異なる考え方と対峙する場面も存在します。英語学習を通じて得られた読解力を活かして、国内・国際社会の諸問題に取り組みたいという強い意志を持つ人を、この選抜で募りたいと考えています。 |
| 健康科学科 | 健康科学科では、人体の機能と健康維持・増進について健康科学の様々な視点から学びます。また、「臨床検査学」「食品・栄養」「運動とスポーツ」そして「自然科学と理科教育」に関わる3つのコースが設置され、それぞれで魅力ある専門的な授業が行われるとともに、将来の希望に沿った様々な資格の取得を目指せるようなカリキュラムが展開されています。これらの学科の専門科目を学ぶためには、その土台となる化学や生物学の基礎的知識を身に付けることが必須であるため、今回示した単元の修得を求めています。健康で豊かな人間生活が求められる昨今、健康科学科で身に付けた知識や技能を活用し、社会に貢献できる人材を、募りたいと考えています。皆さんも、健康科学科での学びを活かし、社会に貢献できる職業を目指してみませんか。  |
| 看護学科  | 看護学科には、1年次に「人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ」として、1年間かけて学習する必修科目で行う必修授業があります。この科目は看護学の土台となる最重要科目の一つですが、これを受講する前提として、この単元の修得を求めます。この単元を積極的に修得することは、看護学科のアドミッショントリシードのうち「1. 入学後の学修に必要な基礎学力としての知識を有している」はもちろん「3. 看護の対象者である人間が好きで、その健康に関わる諸問題について、深い关心と倫理観を備え、看護を学びたいという意欲がある」にも相応しています。   |